



あのときの常呂・写真館

VOL 50

(1967年)

昭和42年4月19日

錦水保育所、旧錦水中学校教室に移転

▶ 錦水保育所の始まりは、昭和40年5月1日。岐阜青年研修所の1階大広間を保育室、2階の畳間を寝室として創立・開園しました。(この当時の名称は錦水保育園) 開園に至る経過は、同年4月19日に岐阜と栄浦両地区の役員と錦水小中PTA役員が保育所の創立について初の合同会議を開催、24日には第1回運営委員会と父兄会を開き、規約・会則・予算・開園日程を決定(入園料200円、保育料月額1,000円)、開園直前の30日には、役員・父兄が青年研修所の屋外に簡易ブランコ、砂場などを整備し、短期間で準備・開園にこぎつけました。〔錦水保育所開所30周年記念誌 どろんこ〕

▶ 昭和41年、錦水中が常呂中に統合し、岐阜区はその旧校舎の2教室を町からもらい受け、保育園用に改修し、寝室・事務室・玄関を造り、昭和42年4月19日から使用します。

*この頃の状況を、第2代目受託者の國枝一雄さんが「どろんこ」に綴っているので概略を紹介します。「…地域の住民が幼児教育に強い関心を持って町に要望…町が区長に管理委託するという形で発足

…保母さんがいないので、小学校の先生の奥さん2人をお願いして始めた…」 。また、旧錦水中校舎利用時のこととして、「…電気設備がなく、小学校からコードを引いて使い…電話は校長住宅のものを借りて連絡を取るという状態」と記しています。

*その後、昭和43年には、栄浦地区から寄贈されたパイプを溶接し、コンクリートで基礎を固め、同じく栄浦から寄贈されたロープを張って12台のブランコが完成、農村集団電話も整備。昭和44年には、役員の労働奉仕によるグローブジャングルや崖を利用した滑り台などの遊具の整備、屋内外の放送設備も揃い、保育園としての機能が充実していきます。ちなみに、昭和46年に名称を「錦水保育所」に変更しています。

昭和41年当時の園舎





＊上：昭和40年11月11日、全面改築した錦水小学校（白く見える建物）と右手前に見える旧錦水中学校校舎を活用した岐阜保育所（錦水保育所）園舎。
撮影年度は不明ですが、ジャングルジムなどの遊具が見えます。

＊左：昭和50年頃の錦水保育所園舎
遊具が増え、充実しています。



▶旧錦水中学校校舎を活用した園舎は、狭く老朽化も深刻になったため、昭和51年11月12日に、錦水小学校樹木園の一部敷地の貸与を受け、新築移転します。左の写真2枚は、完成間近の新しい園舎です。

＊この頃の園児の人数について、「どろんこ」の昭和53年の欄に、次のように書いています。「…開所以来、在園児数は毎年30名前後でした。ところが、51年度は40名、52年度は46名、53年度には49名の園児数となりました。この数は、30年の歴史の中でも一番多い園児数となっています。組別では、年長組19名、年中組13名、年少組17名でした」

▶平成5年7月から幼児室・厨房の増築や内部の大規模な改修を行い、11月に完成します。工事期間中は、岐阜集落センターを代替施設として使用していました。そして、翌平成6年1月28日に錦水保育所開所30周年、増築・改修記念式典を行っています。

また、開所30年を記念した記念誌「どろんこ」を平成5年12月に発行しています。

＊「どろんこ」は、錦水保育所の歴史がわかる貴重な記録資料となっています

＊下の写真は、平成5年11月に完成した改修後の錦水保育所

